

平成29年度 東村山市立東村山第一中学校 学校評価報告書

学校教育目標

・よく考え自ら学ぶ人となる(自主) ・広く他を思いやる人となる(思いやり) ・明るく心身共に健康な人となる(健康)

目指す学校像(ビジョン)

【目指す学校像】 生徒・保護者・地域からそして教師自らが愛せる学校
 【目指す児童・生徒像】 学業に励み、自らを認め、他に対する思いやりの心を持ち、友と学校を愛する生徒
 【目指す教師像】 人権尊重を基盤とし、生徒と向き合い、温かい指導ができるプロ意識の高い教師

前年度までの学校経営上の成果と課題

成果・校内特別支援委員会を中心に授業のユニバーサルデザイン化を図らせることで、わかりやすい授業を実施することが少しずつできた。
 課題・組織的に教職員の資質能力の向上を図る。

| | 具体的方策 | 第1回評価 | | 課題と対策 | 第2回評価 | | 課題と次年度以降の対策 |
|------------|--|-------|------|---|-------|------|---|
| | | 努力目標 | 成果目標 | | 努力目標 | 成果目標 | |
| 学力向上 | ・教員サポートや必要に応じて学生ボランティアを活用する。 ・生徒アンケートを実施する。 | 4 | 3 | ・支援を要する生徒に対し学生ボランティアによる学習サポートを実施しているが、より多くのボランティアを確保することが課題である。ボランティア確保のために大学に募集をかたが、来年度はより多くの大学に募集をかける。 ・生徒アンケートは12月に実施する予定である。 | 4 | 3 | 【課題】・学生ボランティアの確保をする。 【対策】・大学への働きかけを強化する。 ・近隣留学生寮へのコンタクトを図る。(こちらからのボランティア活動) |
| | ・ユニバーサルデザインを基盤にして、わかりやすい授業を実施する。 ・長期休業中に補充教室を実施する。 | 4 | 3 | ・平成29年度・30年度で市の研究奨励を受け、授業改善を促めている。分科会のひとつにユニバーサルデザインを設け、研究を進めている。引き続き教員の意識改革が課題である。教員の相互授業参観週間を設定する。 ・各学年、長期休業中に補充教室は実施した。 | 4 | 3 | 【課題】・授業改善の教員の意識改革を組織的に図る。 【対策】・研究奨励校としての研究により、分科会ごとに一層の教員の意識改革を図る。 |
| 健全育成 | ・地域の施設を訪問し、人権教育を充実させる。 ・各学年道徳担当が月1回担当者会を開き道徳教育を進める。 | 4 | 3 | ・交通手段がないのが課題である。3月に人権の森を3年生が見学しお話をうかがう予定である。来年度は今年度中に市のバス利用を計画する。 ・道徳推進委員の時間確保が課題である。 | 4 | 4 | 【課題】・3月に全生園への見学を3年生で実施した。全学年がハンセン病についての理解を深め差別や偏見のない社会を創造する。 【対策】・道徳でハンセン病について全学年で取り組む。 |
| | ・SCやSSWを活用し教育相談の充実を図る。 ・家庭との連携を図る。 いじめ調査を実施し把握する。 | 4 | 3 | ・早期発見・初期対応を適切に行うことが課題である。校内委員会にSCをメンバーに入れ、情報の共有化を図っている。また、SSWと共有し、いつでも支援してもらえる体制をつくっている。次年度以降も組織で対応をする。 ・いじめ調査を学期1回実施する。 | 4 | 3 | 【課題】・組織的に情報の共有化を図る。 【対策】・生活指導部会・いじめ対策委員会と連携をし、毎週の企画運営委員会に報告をさせる。 |
| 健康・体力づくり | ・交通安全、薬物乱用防止、食育等について外部機関を活用し、生徒の意識を喚起する。 | 4 | 3 | ・セーフティ教室ではSNSについて11月に実施した。交通安全、薬物乱用防止、食育は、各学年で各教科・道徳・特別活動で横断的に指導をする。 | 4 | 3 | 【課題】・安全教育について各教科・道徳・特別活動で横断的に指導する。 【対策】・各教科・道徳・特別活動の年間指導計画をすり合わせ、年度当初に安全教育の年間指導計画と合致させる。 |
| | ・部活動加入率を高め、体力向上を図る。 ・東京都体力調査結果を分析し、保健体育の授業や部活動に活かす。 | 4 | 3 | ・年度当初部活動加盟率は男子が90%、女子が78%、全体で83%である。地域的に外部団体での活動を行っている生徒が多い。 ・スーパーアクティブスクールの指定を受け、データ分析を行った。保健体育の授業と部活動とを関連させ、今後も取り組んでいく。 | 4 | 4 | 【課題】・体力テストで全国平均を上回る。 【対策】・データ分析により、不足している体力の向上を保健体育の授業だけでなく部活動とも連携をし全校体制で取り組む。 |
| 保護者・地域との連携 | ・青少年や地域と連携し、ボランティア活動を推進する。 ・施設ボランティアを創設し、委員会活動等の活性化を図る。 | 4 | 4 | ・地域と連携を図り、ボランティア活動を推奨している。今年度は特に近隣の留学生施設との交流を視野に入れている。 ・3名の施設ボランティアを確保できた。専門委員会とボランティアとの時間調整が課題である。 | 4 | 4 | 【課題】・全生徒が1回はボランティア活動に参加する。 【対策】・誰もが活動できるボランティアを設定する。 |
| | ・12月に保護者及び生徒アンケートによる内部及び外部評価を実施し、次年度に活かす。 ・副籍生徒の行事への参加を促す。 | 4 | 4 | ・12月に保護者及び生徒アンケートを実施する予定である。 ・副籍校の生徒が運動会の見学に来校できた。来年度は行事だけではなく授業での交流も視野に入れていく。 | 4 | 3 | 【課題】・全項目肯定評価を80%以上にする。 【対策】・授業改善を進める中で、誰でもわかる授業を実施する。 ・教員相互授業参観を実施し、意見交換により授業改善を図る。 |
| 特色ある学校づくり | ・生徒会を職員全体で支援し、適性に合った仕事の流れ・分担を明示する。 ・生徒の自治能力を向上させ、自律した集団生活の規範意識を高める。 | 4 | 3 | ・生活指導部内でOJTを推奨し、教員の仕事分担や内容等、常に教職員が連携できる体制作りをしている。 ・生活指導部生徒会担当者を中心に中央委員会や専門委員会、部活動部長会等を定期的に開き、生徒の自主的活動を促している。 | 4 | 4 | 【課題】・生徒会役員の外部機関との連携により、一層自主的な活動ができるようにする。 【対策】・生徒会サミット・経済同友会との連携を図り、生徒の視野を広げる。 |
| | ・図書館司書を活用した、学校図書館利用率の向上を目指す。 ・読書率向上と、ボランティア導入による更なる学校図書館の充実を図る。 | 4 | 4 | ・図書館司書と連携をし、本の配置等を工夫することで、読書率向上を図っている。 ・保護者による図書館ボランティアを募り、使いやすい図書館作りを行っている。 | 4 | 4 | 【課題】・学校図書館利用率を向上させる。 【対策】・放課後の図書館開放を視野に入れ、利用率を高めるとともに今後も生徒からの希望と書を募り、増書に努める。 |